質問順位	4	質問者	荒木文一 議員

件名	項目	要旨	メモ
1．教育行政	1．児童・生徒の発達障害について	1．2022年12月、文部科学省が公表した調査結果によりますと「発達障害の可能性があり特別な支援が必要な小中学生は、通常の学級に8.8%（11人に1人）程度在籍していると推計される」としています。 ここで言う発達障害とは「読み書きや計算など学習面での困難さや、不注意や対人関係を築きにくいなどの行動面での困難さを抱えている」とのことです。本市の教育現場での実態について伺います。	
		2．こうした発達障害が疑われる児童・生徒のうち、特別な支援が必要と考えられる対象者は28.7%とされていますが、具体的にどのような支援、指導が必要となるか伺います。	
	2．教職員の過重労働の改善について	1．平成31年以降、学校現場での教職員の厳しい労働環境の是正に向けた取組みがなされてきたと思われますが、特にポイントと考えられる①適正な労働時間の設定、②勤務時間の管理等について、服務監督権者である教育委員会として現状どのように指導されているのか伺います。	
	3．新型コロナ感染症の5類移行に関する教育現場の対応について	1．本年5月8日より、2類感染症から5類感染症に位置づけがなされることにより、特にマスクの着用について、文部科学省からどのような方針が示されているのか伺います。	